



児童生徒総数 366名  
びわこ学園部 3名  
小学部 128名  
中学部 99名  
高等部 136名

# 草津養護学校ニュース

第36号  
年2回発行

発行元：滋賀県立草津養護学校 発行責任者：及川美由紀（PTA 会長）  
連絡先：草津市笠山八丁目3番111号 TEL：(077) 566-0012（代表）

こんにちは！草津養護学校です。草津養護学校ニュースをご覧頂きありがとうございます。

掲載内容 ● 自立活動「根っこの力を培う教育」 ● 第27回草津養護学校文化祭 ● 他

## これが 僕の手 僕の足

自立活動で培う根っこの力



普段は仰向けで過ごすことが多いTくん。自分で姿勢を安定させようと、身体に力が入りがちになることも。「ここの力を抜いてみようね！」「一緒に動かすよ、せーのーで…」と、自分の身体に気持ちを向けながら先生と一緒に活動すると、「ふう。」と心身ともにリラクセス！「これが僕の手、僕の足」と身体の地図を探りながら描いています。身体を通したコミュニケーションで思いを伝える力も同時に培っています。

草津養護学校では、時間割の中や教育活動全般の中で自立活動の指導が行われています。社会でより良くいきいきと生きていくための力（目には見えない根っこの部分）を、先生と共に培い自分の人生の主人公となるべく日々の学習を積み重ねています。

根っこの力を培う教育

## 自立活動

わたしが主人公！



背すじをシャキッ

Cさん 中学部1年生  
姿勢をまっすぐに保とうとすると右の肩が上がりがちになるCさん。スムーズな歩行や楽に身体を使用するために、身体を中心に意識しながら腰や背中を動かします。お尻や足でしっかり踏みしめると背すじがシャキッ！身体をまっすぐにできたことを感じて「先生、できたよ！」と得意満面の笑みで伝えていきます。担任の先生、自立活動コーディネーターの先生がCさんの心と身体の動きを引き出しています。

ギュッとふみしめて



ももこ

日常は車いす生活のYちゃん 小学部5年生  
立位台を使い、装具を付けた自分の足で踏んばって立ち上がると視野が広がり、骨盤を固定することで手も動かしやすくなります。指さして選んだ本のページを自分でめくり、自分のやりたい思いを先生と共感し、やり遂げた達成感を得ています。



たろう

### 自立活動とは…

各教科・道徳・特別活動とは別に、『特別支援学校学習指導要領』に示されている特別の指導領域です。

自立活動の内容（6区分26項目）には、①健康の保持②心理的な安定③人間関係の形成④環境の把握⑤身体の動き⑥コミュニケーションがあります。

草津養護学校には「自立活動コーディネーター」の先生がいます。医療、福祉と連携しながら指導し、教員や保護者、地域の学校からの相談、車いすや補装具の相談も行っています。

# 第27回 この瞬間を輝け

# 君に伝えたい想い

## 文化祭 イッツ ショータイム! 2017!

草津養護学校

文

化

祭



小学部



小学部



びわこ学園部



中学部 (1年生)



中学部 (2・3年生)



高等部 (1年生)



高等部 (2・3年生)

11月

3 (金)

1 (水)

2 (木)

開催!

### 聞いて! 聞いて!

保護者のつぶやき



#### 小さかった娘が ここまでに!!

娘は1000gを少し超える位の体重で産まれました。哺乳力も弱く、1回の授乳に同じ月齢の赤ちゃんの何倍もの時間がかかりました。成長も遅く、私の頭の中は常に「何故?」という疑問ばかりの毎日でした。

生後8ヶ月で生まれつき筋力が弱かった事が分かり、理学療法のリハビリを始める事になりました。

初期のリハビリとして、腰に重心がくるようにする椅子に座る事から始めました。自宅では腰にベルトを巻いて、重心はここ!と日常でも本人に分かり易くしました。ハイハイ、お座り、歩行するまでの時間はどれも長かったのですが、やっと2歳4ヶ月で歩く事が出来ました。しかし、体重を支える事が難しくなる娘は、歩くとよく転んでいました。

幼児期のリハビリとして、腰に専用の装具を付け、そこに何本もの太いゴムを装着し、ゴムの力を借りて跳びはねる訓練とボールプールの中に入って全身をまんべんなく使う訓練を続けました。後は三輪車に乗り、バランス感覚とこぐ力を養う訓練もしました。

養護学校に入ると、トランポリン、三輪車など、日常的に使える様に設置されていました。毎日時間を決めて取り組んでいたのが、段々と体の芯が安定してきました。高学年に入ると先生の指導により、小さな台の上に乗る数分間静止しながら、朝の会をするという取り組みをしました。その結果、体幹を鍛える事を習慣付ける事が出来ました。

現在はリハビリの成果と、学校での取り組み、本人の成長により、走ったり、歩いたりしても転びにくくなりました。とはいってもまだまだ危なっかしい時もあるので、引き続き学校に設置されているトランポリンを利用して粗大運動をし、体幹を鍛える訓練は必要です。

(文:生徒保護者)



### 知って! 知って!

草津養護学校のあれこれ

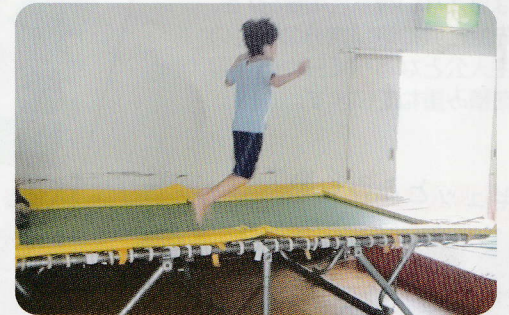
#### 魔法の遊具トランポリン

草津養護学校の体育館には縦3m横4m程の大きなトランポリンが2台あります。朝の学習前や昼休みに、先生や友達といっしょに子どもたちが楽しそうにトランポリンで運動をしています。

トランポリンで遊ぶと『体幹』や『バランス感覚』が鍛えられたり、着地の瞬間に、足や腰、おなかなどの『体の力の入れ加減』が分かったり、自分のボディイメージが高まったりします。ピョンピョン跳びながら周りを見ることは眼球運動にもなります。それにより目でしっかり見て文字を書けるようになる子どももいます。

体幹がしっかりすると、体が動かしやすくなり「さわってみたい」「見てみたい」「やってみてみたい」「伝えたい」など子どもの意欲が高まり、ことばの発達にもつながっています。

毎年修理が必要な程子どもたちに大人気のトランポリン。まさに“魔法の遊具”です。



#### 草津養護学校で学ぶ子どもたちの教育条件をよくする会より ～要望署名にご協力ありがとうございます～

360名余りの子どもたちが学ぶ草津養護学校の教育条件、通学条件改善の願いに賛同し、協力いただいた市民の皆さま、ありがとうございます。本校保護者や教職員がそれぞれのつなかりを活かし、署名への協力をお願いするなかで、約6000筆にのぼるご協力をいただきました。多くの署名を力に滋賀県教育委員会に要望を届けていきます。

これからもご理解、ご協力をよろしく願います。

#### 編集後記

中学部の娘の時間割の中に書いてあった「自立活動」。これはどんな勉強なのかな?そこから今回自立活動の様子をお伝えすることにしました。学校と同じように家庭でも子どもたちといっしょに根っこを培ってあげたいと思います。